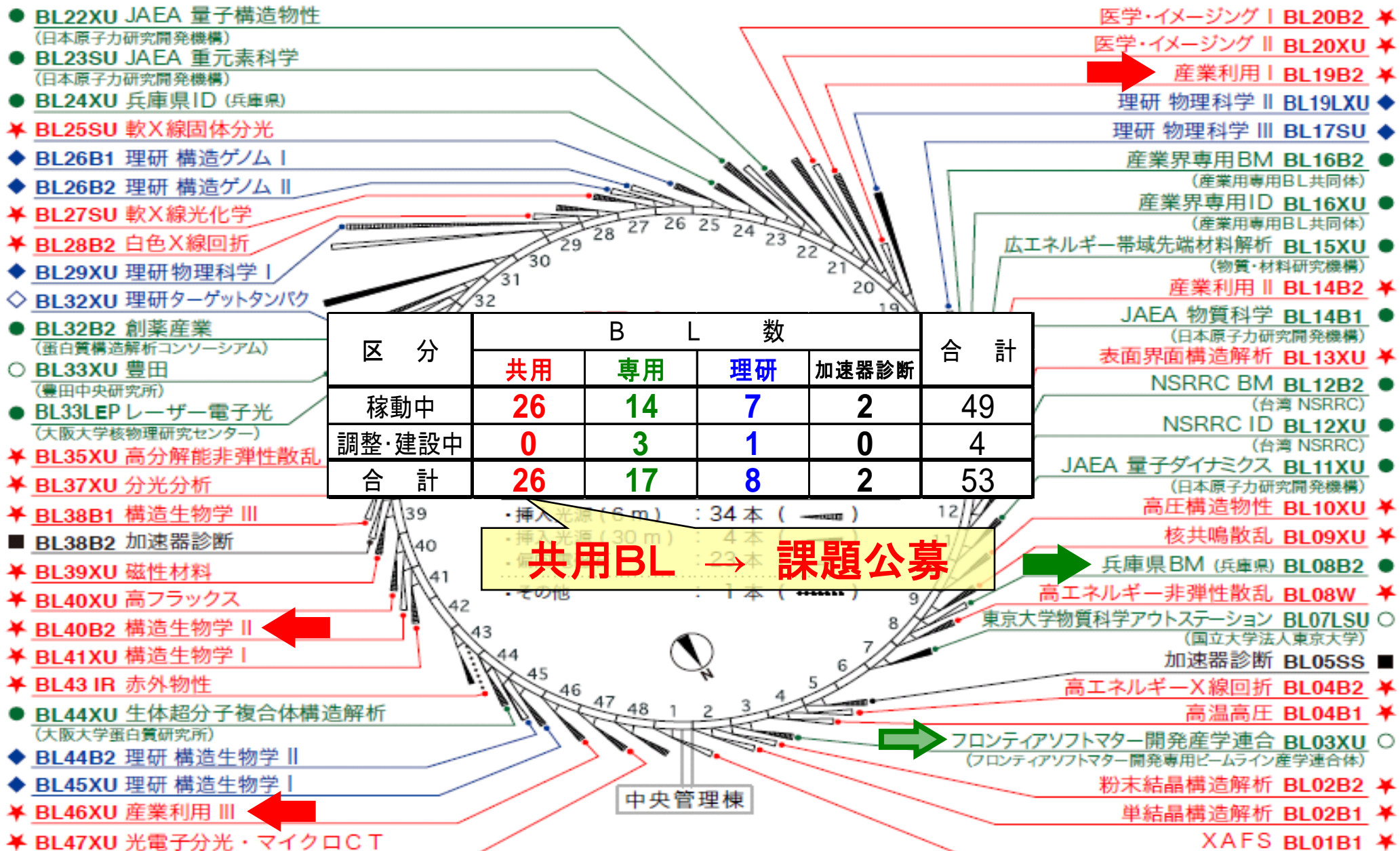


「SPring-8の利用に関心のある方へ」

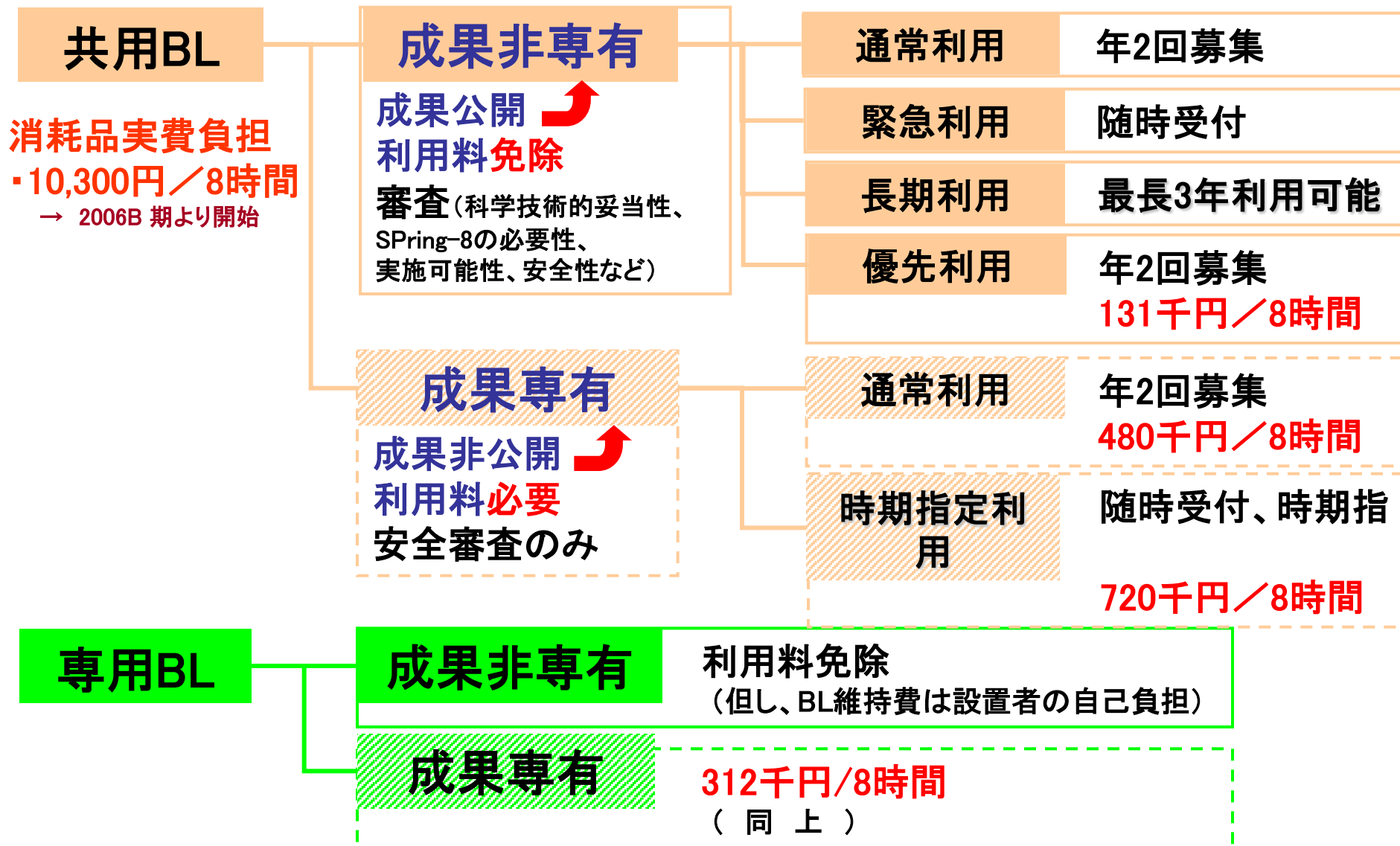
(財)高輝度光科学研究センター
産業利用推進室
渡辺 義夫

SPring-8 ビームラインマップ

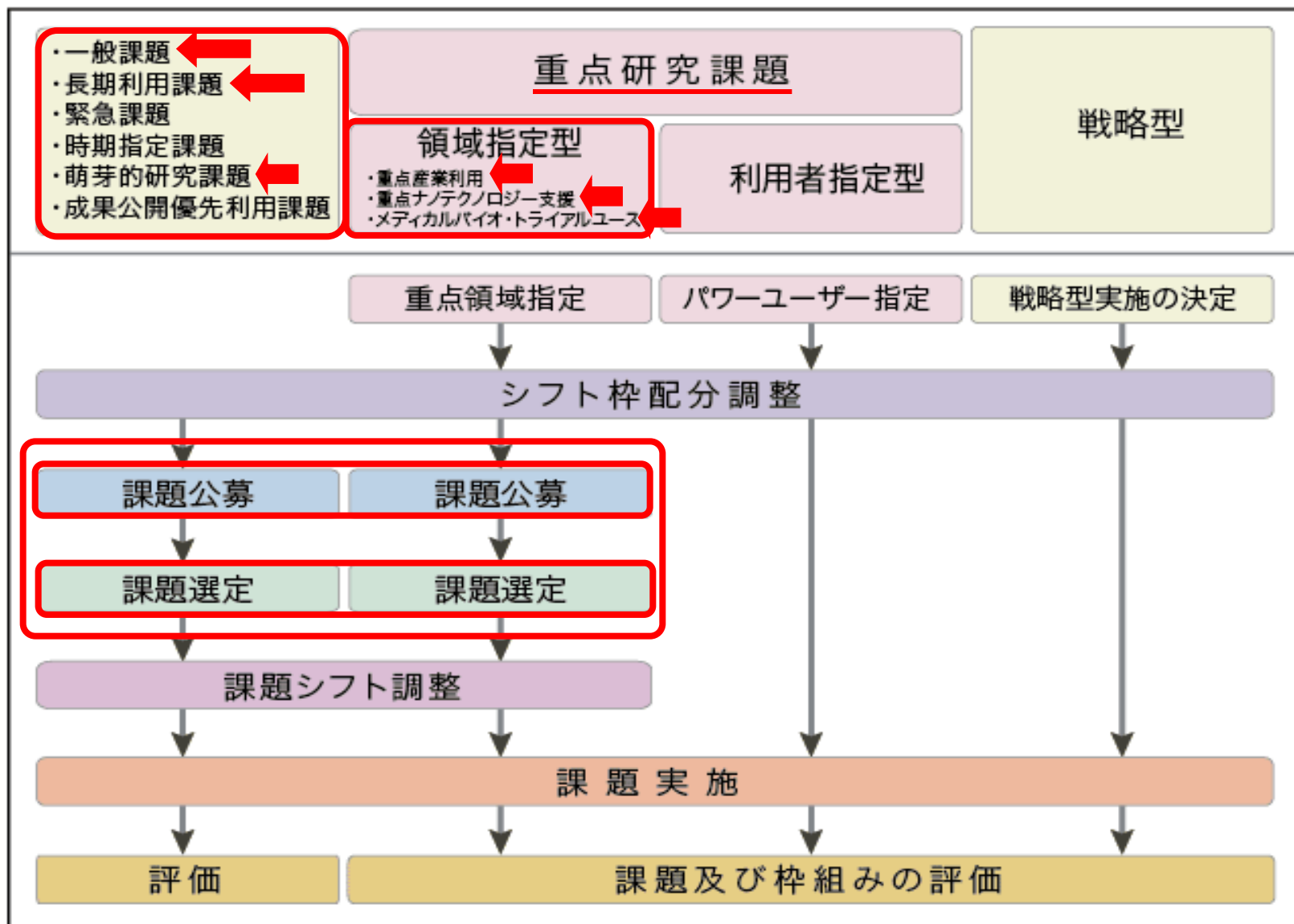
2008.1.7現在



共用BL及び専用BLの利用制度（概要）



共用ビームラインの課題実施概念図



産業界向けの利用制度

利用制度の具体化

◆ 産業利用に向けた**制度**の構築

⇒ 適時, 計画性, 継続性, 即時性を満たす**柔軟な利用形態**へ



◆ 具体的内容 ← **「重点産業利用課題」**

➤ **年4回公募** … 2007B期から運用開始(07年9月 第2回募集, 12月BT配分)

⇒ 3本の産業利用ビームラインに適用

➤ **通年課題** … 2007B期の第2回公募から(B期のみ募集)

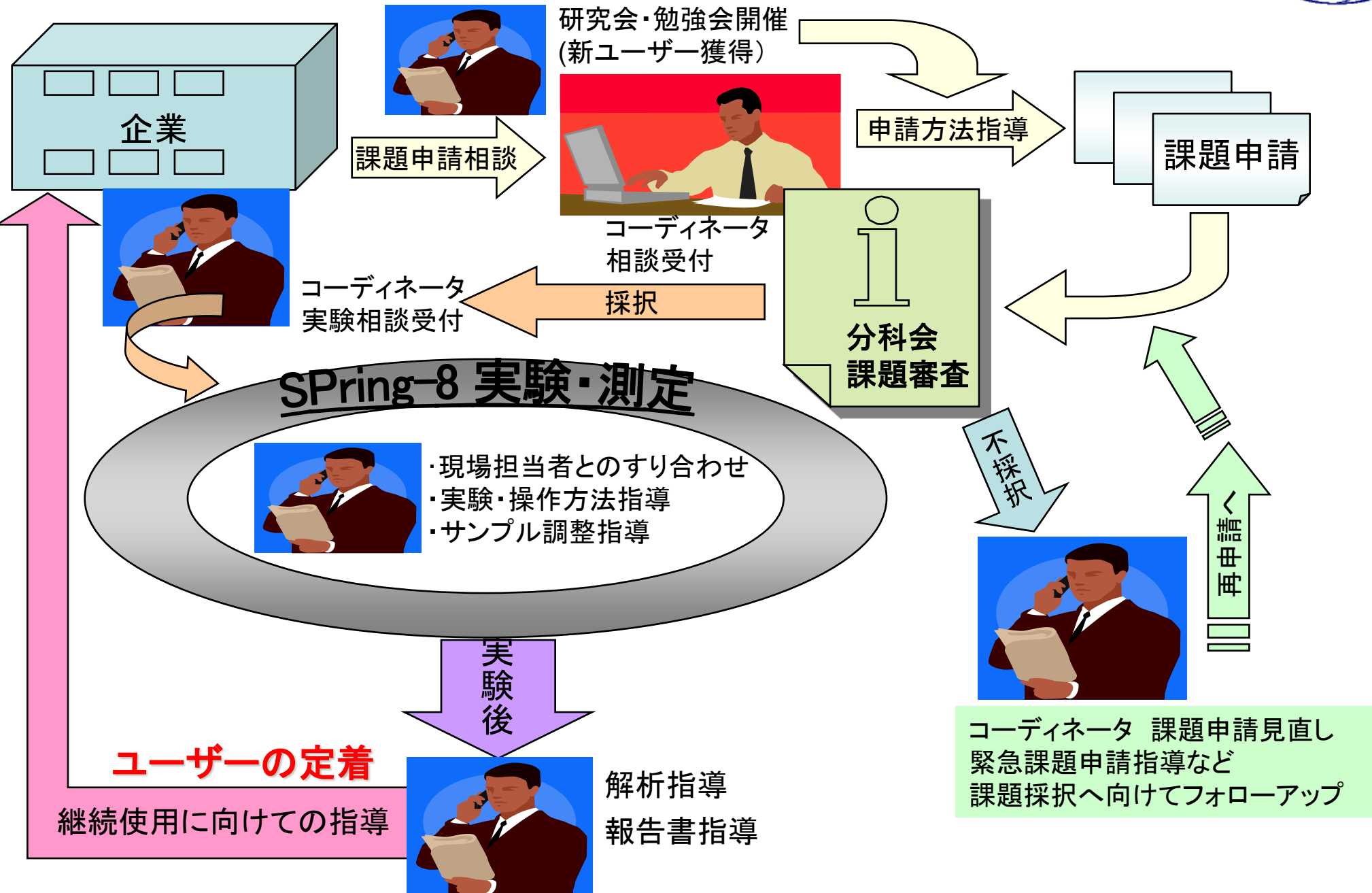
➤ **成果公開延期** … 最大2年間の**報告書公開を延期**

⇒ 延期終了時点で報告、その成果を明確化

➤ **測定代行** … 2008B期の公募時期に合わせて**本格実施**

⇒ 手法: XAFS(産業利用Ⅱビームライン)

コーディネーター等の役割



共用BL利用研究課題審査基準

※「共用施設の利用研究課題選定に関する基本的考え方」より

審査基準	課題の種類	成果公開 一般課題	成果公開 優先利用課題	成果 非公開課題
<p>(1) 科学技術的妥当性</p> <p>イ) 研究課題の先端性及び当該研究課題を含む 科学技術分野の発展性ないしは新分野開拓への寄与</p> <p>ロ) 期待される研究成果の基礎的研究分野及び基盤 的技術開発分野への寄与度</p> <p>ハ) 期待される研究成果の産業基盤技術としての重要性 及び発展性</p> <p>ニ) 研究課題の社会的意義及び社会経済への寄与度</p> <p>※「重点産業分科会」では、ハ)とニ)を重視して審査</p>		○	× (競争的研究 資金獲得時 の審査結果 を尊重し、 二重の審査 を行わない)	×
(2) 研究手段としてSPring-8の必要性		○	○	×
(3) 科学技術基本法や社会通念等に対する妥当性		○	×(同上)	○
(4) 実験の実施可能性		○	○	○
(5) 実験の安全性		○	○	○

※重点研究課題においては、各利用研究分野等の特性に配慮した審査を行う。

JASRI産業利用推進室

●室長：渡辺：半導体材料

y.wata@spring8.or.jp

●コーディネーター

➤古宮：電子材料

komiya@spring8.or.jp*

➤梅咲：無機材料

umesaki@spring8.or.jp

➤杉浦：触媒材料

sugiuram@spring8.or.jp*

➤二宮：蛍光分析

ninomiya@spring8.or.jp*

➤橋本：金属材料

hashimot@spring8.or.jp

➤堀江：高分子材料

horiek@spring8.or.jp*

➤八田：生体物理

hatta@spring8.or.jp*

*非常勤

●技術・解析支援者 16名(うち、13名Dr.取得者) 2008.4.1現在

うち、SPring-8サービス(株)からの業務協力員8名

●一般お問い合わせ窓口

support@spring8.or.jp